トップコミットメント

「青い地球の未来をつくる」

——地球規模の社会課題を解決に導く“永遠のベンチャー企業”でありたい



東京センチュリーグループは、2026年度、新たなパーパス（存在意義）として「青い地球の未来をつくる」を掲げました。このパーパスは、私たちが100年後の未来においても社会から必要とされる企業であり続けるための、揺るぎない「北極星」であり、SDGsを経営の中核に据えるというコミットメントの表れでもあります。

今後さらなる飛躍を遂げるために、私たちは、これまでの延長線上にはない成長を目指す「挑戦する組織」へと生まれ変わらなければなりません。「第二創業期」にある私たちは、自らを「地球規模の社会課題を解決に導く“永遠のベンチャー企業”」と定義。社会価値・人財価値の極大化が、経済価値を創出し、企業価値の極大化をもたらす「サステナビリティ経営」をさらに深化させてまいります。

社会課題解決型ビジネスによる価値創造の深化

私たちは、脱炭素社会への貢献、技術革新に対応した新事業創出や持続可能な資源利用など、5つのマテリアリティ（重要課題）を経営の中核に据えています。世界有数のパートナーとの「共創力」と、当社の強みである「モノ価値の目利き力」に専門人材を掛け合わせ、サーキュラーエコノミーの構築をはじめとする「社会課題解決型ビジネス」を強力に推進します。これらを通じて創出される「社会的インパクト」を可視化し、成長投資を促し、非財務価値を財務価値へと確実に繋げていくプロセスを深化させてまいります。

変革を支える「人財価値」と「ガバナンス」

サステナビリティ経営を支える真の基盤は、役職員一人ひとりの「志」と「挑戦」に他なりません。私たちは「人財力」を経済価値の先行指標と捉え、多様な専門性を持つプロフェッショナルが前例のない領域に挑戦できるよう、新人事制度を構築し、人的資本の最大化を図ってまいります。

同時に、この非連続な成長を支えるのは、健全かつ透明性の高い経営基盤です。CxO体制への移行によるグループガバナンスの強化と、リスクアペタイト・フレームワークの本格導入により、高度な意思決定とリスク管理を両立させ、ステークホルダーの皆さまからの信頼に応える強靭な組織を築いてまいります。

ステークホルダーの皆さまとともに

すべての礎は「信頼」です。役職員、そして、パートナーとともに道徳経済合一のもと、新たなストーリーを描く。これが私たちの歩み方です。お客さま、株主・投資家、地域社会の皆さまとの対話を深め、100年先まで続く持続可能な未来への挑戦を続けてまいります。

東京センチュリーの挑戦に、どうぞご期待ください。

代表取締役社長 CEO
藤原 弘治

編集方針

SUSTAINABILITY DATA BOOKの位置付け

本データブックは、株主・投資家、お客さま、お取引先をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに、東京センチュリーグループのサステナビリティに関する考え方や推進体制、2025年度の主な取り組み、およびESGパフォーマンスデータをご報告することを目的として作成しています。
東京センチュリーグループは、事業活動を通じて社会課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現と企業価値の向上の両立を目指しています。本データブックでは、そうした取り組みの状況や成果を具体的に紹介しています。
なお、当社の価値創造ストーリーや中長期的な経営戦略については「統合レポート」にてご報告しており、本データブックは、ESGの客観的な定量データや詳細なパフォーマンスを網羅的に開示する役割を担っています。関連する方針や定性的な取り組み事例については、当社コーポレートサイト等のリンク（URL）を適宜記載し、必要な情報へスムーズにアクセスいただける構成としています。
本データブックを通じて、東京センチュリーグループのサステナビリティへの取り組みに対する理解を深めていただくとともに、ステークホルダーの皆さまとの建設的な対話の促進に繋がれば幸いです。

報告の対象

対象組織	原則として東京センチュリー株式会社および連結子会社を対象としています。一部、東京センチュリー株式会社単体もしくは特定の範囲を対象としているものがあり、その場合は個別に対象範囲を明示しています。
対象期間	2025年4月1日～2026年3月31日 （一部対象期間以降の活動内容を含みます）
発行	2026年10月

参考ガイドライン

・GRIスタンダード
・環境省「環境報告ガイドライン2018年版」
・TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）提言
・国連グローバル・コンパクト（10原則）

第三者保証

環境パフォーマンスデータの情報の信頼性を確保するため、GHG排出量スコープ1・2および3（カテゴリー1、4、5、13、15）、エネルギー使用量、産業廃棄物排出量、ならびに京セラTCLソーラー合同会社の太陽光発電事業による年間発電量およびCO_2削減貢献量について、デロイト トーマツ サステナビリティ株式会社による第三者保証を受けています。
詳細はP15～18「算定基準」「第三者保証」をご参照ください。

凡例

EMS ： 東京センチュリーの環境マネジメントシステム（EMS）適用範囲7社※
※東京センチュリー㈱、EPC Japan㈱、TCエージェンシー㈱、エス・ディー・エル㈱、FLCS㈱、㈱アイテックリース、㈱IHIファイナンスサポート
（エス・ディー・エル㈱は2026年4月1日をもって東京センチュリー㈱に吸収合併となりました）

TC ： 東京センチュリー単体

Gr ： 東京センチュリーグループ97社※
※国内48社、海外49社を対象としています。

☑ ： 第三者保証の対象項目

目次

- トップコミットメント …… 1
- 編集方針 …… 2
- 会社基本情報 …… 4
- 経営理念体系 …… 5

サステナビリティ / Sustainability

- サステナビリティに対する理念・考え方 …… 6
- マテリアリティ …… 7

環境 / Environment

- 環境政策 …… 11
- 生物多様性への取り組み …… 12
- 持続可能な資源の活用 …… 12
- 環境パフォーマンス …… 13
- 算定基準 …… 15
- 第三者保証 …… 18
- 気候変動戦略 …… 19
- 環境市場機会 …… 20

社会 / Social

- 人権 …… 21
- ダイバーシティ …… 21
- 人財育成 …… 22
- 健康経営 …… 23
- 労働安全衛生 …… 23
- ファイナンシャルインクルージョン …… 23
- 社会貢献活動 …… 24
- 人材関連データ …… 25
- 環境・社会に配慮した投融資 …… 27
- サステナブル調達 …… 27
- 株主・投資家・顧客向け活動 …… 27

ガバナンス / Governance

- コーポレート・ガバナンス …… 28
- リスクマネジメント …… 29
- コンプライアンス …… 30
- 情報セキュリティ …… 31
- 個人情報保護 …… 31
- コミットメントと外部評価 …… 31

会社基本情報

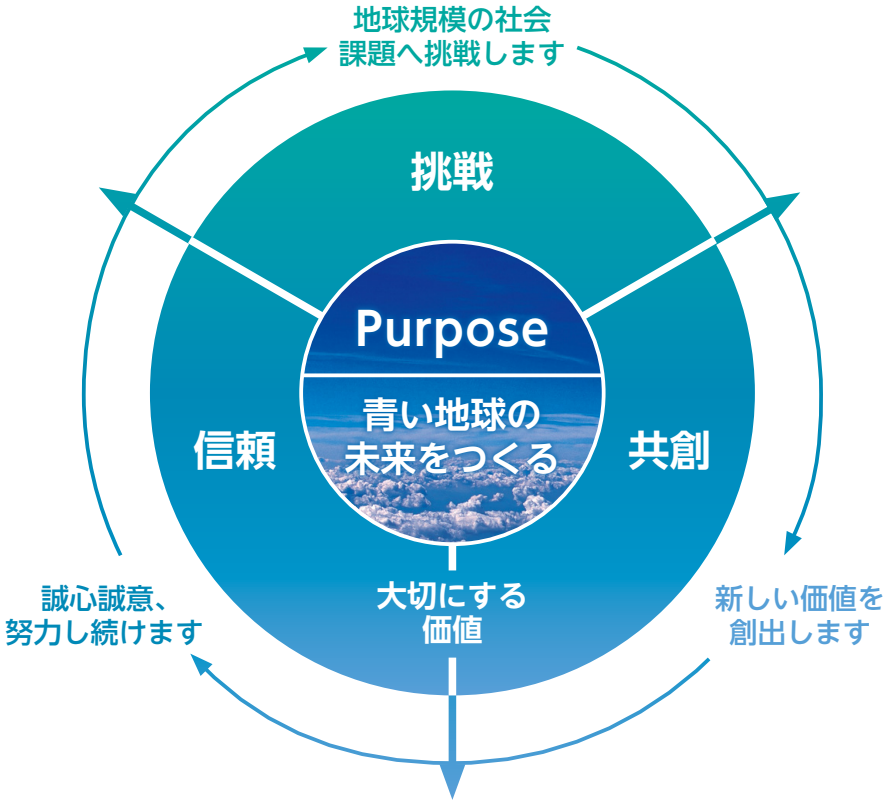
会社概要

商号	東京センチュリー株式会社
事業内容	国内ビジネス、海外ビジネス、社会インフラ、トランスポート、モビリティ、企業投資
本社所在地	東京都千代田区神田練塀町3番地 ヒューリック秋葉原タワービルディング
設立	1969年7月1日
代表者	代表取締役会長 共同CEO　雪矢 正隆 代表取締役社長 CEO　藤原 弘治
資本金	81,129 百万円
上場区分（証券コード）	東京証券取引所プライム市場（8439）
主要株主	伊藤忠商事株式会社、中央日本土地建物株式会社、NTT株式会社、株式会社みずほ銀行
グローバルネットワーク	世界30以上の国と地域

事業セグメント

国内ビジネス部門	国内における情報通信機器、事務用機器等のリースや各種サービス、リユース・リサイクルのサーキュラービジネスなど、各種事業等
海外ビジネス部門	海外における情報通信機器等の多様なアセットを対象に、FMVリースやファイナンス、IT機器処分を中心としたライフサイクルサービスなど、モノのライフサイクル全般に関連する各種事業等
社会インフラ部門	国内外の不動産（オフィスビル、データセンター、ホテルなど）、再生可能エネルギー領域を対象とした事業運営、リース・ファイナンスおよびアセットマネジメント、各種事業等
トランスポート部門	国内外における航空機、船舶等を対象としたリース・ファイナンスおよびアセットマネジメント、各種事業等
モビリティ部門	国内外における法人・個人向けのオートリースおよびレンタカー、車両の整備・サービスなど、モビリティのライフサイクル全般に関連する各種事業等
企業投資部門	国内外におけるエクイティ・メザニン等の企業投資および投資先企業のバリューアップ支援、ファンドの組成・運用、各種事業等

経営理念体系



詳しくは東京センチュリーNEWS「青い地球の未来をつくる」-藤原社長がパーパスに込めた想いとは？-をご覧ください。
https://www.tokyocentury.co.jp/tc-news-jp/life/purpose/

Purpose

青い地球の未来をつくる

Vision

地球規模の社会課題を解決に導く
“永遠のベンチャー企業”

Values（大切にする価値）

挑戦	前例に縛られることなく新しいことに挑み、 失敗を学びに換えながら成長し続けます。
共創	多様な従業員やパートナーの力を掛け合わせ、 世の中にない新しい価値を創出し続けます。
信頼	お客さまと社会からの信頼を第一に考え、 より良い社会・世界の実現のために、 誠心誠意、努力し続けます。

▶ 企業行動規範
https://www.tokyocentury.co.jp/jp/sustainability/our-sustainability/sustainability-management.html#anc_corporateCodeOfConduct